

## 2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
24301	薬理学 Pharmacology	毛利彰宏 中嶋和紀 國澤和生		専門	2	選択	2年後期
<b>科目の概要</b>							
栄養士業務及び医事業務に必要であるばかりでなく、私たちの身近にある「薬」について学び、薬物の生体への作用、薬理効果、代謝経路、副作用など、薬物治療の基礎知識について理解する。この授業では、客観的な証拠に基づいて科学的にものごとの判断ができる能力を身につける。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 投与された薬物の生体内運命と薬効を理解する ② 医薬品の法律による規制を理解する ③ 各医薬品の作用機序、薬理効果、副作用を理解する ④ 薬理学専門用語を理解する ⑤ 薬物の知識を身につける				① 薬の作用点の薬物受容体を理解し説明することができる ② 医薬品に関する法律を理解し説明することができる ③ 薬の作用機序、薬理効果、副作用を理解し説明することができる ④ 薬理学専門用語を理解し説明することができる ⑤ 必要な薬物の知識を身に付けることができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、講義資料や参考書を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	強い意志を持ち、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力	学修状況に合わせて、柔軟に計画を修正できる。					
	創造力	複数の知識や考え方を組み合わせて、発想することができる					
チームで働く力	発信力	事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	内容の確認や質問等を行いながら、相手の意志や状況を正確に理解することができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：「いちばんやさしい薬理学」 木澤 靖夫（監修）（成美堂出版） 講義資料の配布							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：「生理学」、「解剖学」 資格との関連：医療管理秘書士、医事管理士							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
テキストおよび配布する講義資料に授業中加筆、印を付け自分のノートを作る。講義中に重要と説明された箇所は復習し、知識を身に付ける。				テキストおよび配布された講義資料は忘れず持つてくること。自分のノートを作成するので無くさないようにする。講義中の私語は他の学生に迷惑なので慎む。スマートフォンは授業で使用する時以外は電源を切っておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	75	①	✓	医薬品に関する法律を理解できていること。 薬の作用機序、生体内運命などの総論と各薬物の薬理効果、副作用を理解できていること。 薬理学専門用語を理解できていること。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
	平常評価	小テスト	20	①	✓	授業での重要箇所の理解度を確認するため、小テストに的確な記述による解答ができること。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤		
平常評価	レポート	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	5	①	✓	主体性：課題をするのに、講義資料・文献を使って自己学修をする。課題発見力：事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極める。規律性：私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>薬物の作用機序を的確に説明できること。(①) 薬物の薬理効果、副作用を的確に説明できること。(②) S(秀) = ①+②、A(優) = ①又は②</p>	<p>主な薬物の薬理効果、副作用を説明できること。(①) 薬理学専門用語を説明できること。(②) B(良) = ①+②、C(可) = ①又は②</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	総論：薬理学の基礎知識①	講義 授業中での質問（記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の作用、薬物の体内動態を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
2	総論：薬理学の基礎知識②	講義 授業中での質問（記述で答えた後、フィードバックする）	薬の作用機序、薬の作用点の薬物受容体を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
3	各論：神経系に作用する薬	講義 授業中での質問（記述で答えた後、フィードバックする）	神経系に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	各論：呼吸器系に作用する薬	講義 授業中での質問（記述で答えた後、フィードバックする）	呼吸器系に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	各論：消化器系に作用する薬	講義 授業中での質問（記述で答えた後、フィードバックする）	消化器系に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	各論：循環器系・血液に作用する薬①（高血圧薬など）	講義 授業中での質問（記述で答えた後、フィードバックする）	循環器系・血液に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	各論：循環器系・血液に作用する薬②（不整脈薬など）	講義 授業中での質問（記述で答えた後、フィードバックする）	循環器系・血液に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	各論：炎症・免疫に作用する薬	講義 授業中での質問（口頭で答えた後、フィードバックする）	炎症・免疫に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	各論：抗感染症薬① (抗菌薬)	講義 授業中での質問(記述で答えた後、フィードバックする)	抗感染症薬の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	各論：抗感染症薬② (抗ウイルス薬・抗真菌薬)	講義 授業中での質問(口頭で答えた後、フィードバックする)	抗感染症薬の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	各論：泌尿器系に作用する薬	講義 授業中での質問(記述で答えた後、フィードバックする)	泌尿器系に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	各論：内分泌に作用する薬① (糖尿病など)	講義 授業中での質問(記述で答えた後、フィードバックする)	内分泌に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	各論：内分泌に作用する薬② (骨粗鬆症など)	講義 授業中での質問(記述で答えた後、フィードバックする)	内分泌に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	各論：抗腫瘍薬	講義 授業中での質問(記述で答えた後、フィードバックする)	抗腫瘍薬の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	各論：目に作用する薬	講義 授業中での質問(記述で答えた後、フィードバックする)	目に作用する薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定のテキストを予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力